

第23回 経営協議会 議事録

日時 平成22年5月25日(火) 14時00分～16時00分

場所 事務局3階共通会議室

出席者 山本学長

赤木委員、檜畑委員、松原委員、南委員

堀内、平田、松浦、帯野各理事

(田中監事、竹内副学長、越本副学長、松浦教育学部長、森口経済学部長、  
瀧システム工学部長、大橋観光学部長、西村企画総務課長、葛西財務課長、  
谷口監査室長)

欠席者 山口委員

(中村監事)

第22回(3月23日開催)の議事録について、意見等の有無について確認があり、  
了承した。

議事

1. 組織機構の見直しについて

堀内理事から、資料1に基づき組織機構の見直しの考え方、改正概要について説明  
があり、審議の結果、了承した。なお、以下のような意見、質疑応答があった。

○学生教育における男女共同参画の取り組みも重要ではないか。

→ 授業科目としては設けているが、さらに充実していきたい。

○教育学生支援機構の体制はどのようなものか。

→ 機構長に教育・入試・学生支援を担当する理事を充て、構成員としては、教養  
改革、就職支援担当の学長補佐、メンタルヘルスを担当する保健管理センター  
長、各学部の教務係長等を考えている。学生の最前線の情報を収集し、即応で  
きる組織を作りたい。

○理事、副学長と学長補佐の担当業務に重複がある。理事と副学長の分担も分かりに

<p>く。学長補佐は、学部の教員としての業務を持っていると思うので、学長補佐としての担当業務に専念し辛いだらう。専任の理事に運営を集中した方がいいのではないか。</p>
<p>→ 第1期の反省をふまえ理事だけではカバーできない領域を理事と協力して課題を遂行していくというのが設置の趣旨である。たとえば広報・同窓会担当など。また全学の知恵と経験を集約して大学運営をするために学部長経験者等に委嘱している。</p>
<p>○理事補佐というのはどのような立場か。</p>
<p>→ 理事補佐制度は、本学の次世代の運営を担う若手を育てたいという趣旨で置いている。</p>
<p>2. 大学院観光学研究科設置申請及び入学定員振替について</p>
<p>山本学長から、平成23年4月大学院観光学研究科設置に向けて、学内の検討経緯、文部科学省折衝の状況、研究科のコンセプトについて概要説明があった。また、入学定員については5名を経済学研究科から振替することで、経済学部教授会、教育研究評議会で承認されているとの説明があり、審議の結果、了承した。なお、以下の質疑応答があった。</p>
<p>○観光学という分野はまだ新しいと思うので、和歌山大学的な観光学を目指してほしい。</p>
<p>→ 国立大学で数少ない研究科であり、日本の観光学のトップランナーをめざしたい。</p>
<p>3. 平成21年度決算及び平成23年度概算要求事項について</p>
<p>松浦理事から、資料3に基づき説明があり、審議の結果、了承した。</p>
<p>4. 平成21事業年度に係る業務の実績及び中期目標期間に係る業務の実績に関する報告書について</p>
<p>堀内理事から資料4に基づき説明があり、審議の結果、了承した。今後の手続きとして最終確認を行い、軽微な字句や、表現の統一等の修正については、大学に一任することとされた。なお、以下の意見、質疑応答があった。</p>

○一番大切である教育・研究の質の向上について、どこに重点を置いているか。
→ システム工学部では研究戦略会議を設けた。先進的な研究所などと連携したり
中国科学院など海外でも伸びている国の研究機関と連携を考えている。
教育面では、教育学生支援機構の設置などにより、きめ細やかに進めて行こう
と考えている。研究面での高い評価を得ようとして、高い評価を得られる人材
にだけ依存するのではなく、全体的なレベルアップを目指すことも重要である
と考えている。その方策について検討している。
○外部資金の獲得についてはどうか。教員に獲得する意識を持ってもらわないといけ
ない。
○評価結果の順位と、本当の教育・研究のレベルとではずれがあるだろう。どういう
指標で評価されるかという事に無頓着であったのではないか。全学的な認識不足。
実際に85位ではないと思うから、傾向分析と対策を立てていかないといけない。
○国が決めた評価制度が正しいかどうか検討する機会はあるのか。
→ 文部科学省が各国立大学法人等に意見を求め、検討作業をしている。
○目標を立てる人と、課題を遂行する人、結果を書く人との認識の共有が必要である。
この点での責任の所在をはっきりさせる必要がある。
報 告
1. 平成22年度資金運用について
前回の経営協議会で審議された、平成22年度資金運用について、松浦理事から資
料5に基づいて、結果報告があった。
最後に学長より、経営協議会の外部委員の方には、本会議だけではなく大学の各種
会議等でのレクチャーや意見交換等ご助力いただきたいとの依頼があった。
以 上